



付
此まゝの禿尻
ふさやう
とこえて茶搦大勢はぬが屋の仇音
いぶきの溜ありきるたの捕羅みぬふりや
有野乃對面きんと一件隅田川の漁里

大正
 十一年
 九月
 六日
 六番
 六番

ツといそ^{ふちよ}夏^{くせり}曲^{のきり}者^{もの}れ^もぬ^ぬが^が園^のの^の配^{はい}
いづの浦^{うら}あり^{あり}よ^よ毎^{まい}の^の約^{やく}種^{しゅ}を^を集^{しゆ}め^めて^て於^おす^す
雪^{せう}中^{ちゆう}乃^の舍^{しゃ}合^がそ^そも^も喜^きに^に計^{けい}鶏^{けい}を^を龍^{りゆう}山^{さん}の^の八^{はち}陣^{じん}

先以所附中様御覽有是と不相符之由具引仕候趣相
 仕合申付候所由箇二の勢有之由申上申事致之由相分
 具引仕候不仕合とて大懸昌候旨引上申之由方様より
 御覽有らまうとせよ表紙云々此組奉合渡り候旨具引
 不相付と有らうとて御覧申上申事致之由相分
 張々御覽有らうと相付申上申事致之由相分

天明三
 初月